

全日本シクロクロス選手権、男子エリート1位の竹之内（先頭）と2位の小坂



全日本シクロクロス選手権大会	2
新年のご挨拶／日本新記録	4
2013年UCI室内自転車競技世界選手権大会	5
第44回 全日本室内自転車競技選手権大会	6
関西シクロクロス 野洲ラウンド (UCI-2)	8
2013伊豆BMX国際／BMX年間ランキング	10
国立スポーツ科学センターでの測定合宿／連盟の動き	11
JCF 登録のご案内	12
平成25年度加盟団体別競技者登録状況	13
スポーツ界における暴力行為根絶宣言	14
競技大会結果	16
今後の大会予定	18
2014年 ジャパン・トラック・カップ I / II 告知	19
全日本シクロクロス選手権大会 photo	20



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。 RINGIRING! プロジェクト 競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで RINGIRING! 検索



男子エリートのスタート

全日本シクロクロス選手権大会

昨年につき、男子 竹之内、女子 宮内が優勝!



男子エリート3位の沢田



男子エリート1位の竹之内



男子エリート2位の小坂



女子エリートの先頭グループ

第19回全日本シクロクロス選手権大会が12月8日、滋賀県高島市のマキノ高原2.72kmの特設コースで開催された。

大会前日には雨が降り心配されたが、当日は回復しジュニアのレースから開始された。

朝9時、男子ジュニアクラス(40分)の5名がスタート。序盤、中井、山田、竹内の順で展開するが、その後中井と竹内の執拗なバトルとなる。最終周ゴール手前で竹内がスパート、見事勝利かと思われたがゴール寸前で中井が竹内をかわし、中井唯晶が今年度のジュニアチャンピオンとなった。

11時、女子エリートクラス(40分)の14名がスタート。宮内、豊岡、與那嶺、坂口が先頭集団を形成する。その後、2週間前の野洲大会勝者の豊岡が遅れ、宮内、与那嶺、坂口の順でそれぞれ単独にレースが進む。

結局そのままの展開で、宮内が2位の与那嶺に21秒差を付け全日本選手権2連覇を果たした。

13時、男子エリートクラス(60分)の94名がスタート。竹之内、小坂光、武井、前田、横山が先行。そこから武井、

前田が遅れ、後ろからは沢田、小橋が順位をあげてくる。

その後、単独先行の竹之内を小坂光と沢田が追う。最後の2~3位ゴールスプリントは小坂が見事制し、1位竹之内、2位小坂、3位沢田となった。なお、トップと同一周回でゴールしたのは27名であった。



女子エリート1位宮内のフィニッシュ

【競技結果】

全日本シクロクロス選手権大会
(2013/12/8 滋賀・マキノ高原)

男子エリート

- 1 竹之内 悠 COLBA Superano 57:44
- 2 小坂 光 宇都宮ブリッツェン CX +0:57
- 3 沢田 時 BS ANCHOR +0:57



女子エリート

- 1 宮内佐季子 CLUB viento 43:09
- 2 與那嶺恵理 TEAM FORZA +0:21
- 3 坂口 聖香 panasonic Ladies +1:42



男子ジュニア

- 1 中井 唯晶 Seta tech HS 39:02
- 2 竹内 遼 TEAM Pro Ride
- 3 山田 将輝 Limited846 +2:32



男子ジュニアのゴールスプリント 1位中井(左)と2位竹内



新年のご挨拶



(公財)日本自転車競技連盟
会長 橋本 聖子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より、皆様には自転車競技の普及振興活動へのご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本年は東アジアにおいて多くの国際大会が予定されています。中華人民共和国・南京でユースオリンピック、大韓民国・仁川でアジア競技大会、また日本においても室内競技のサイクルサッカーワールドカップが別府市で開催されるなど話題の多い年になりそうです。

また、1月と7月に伊豆ベロドロームにおいて、初めての国際競技大会である JAPAN TRACK CUP を開催いたします。大会開催を成功させると共に、国内選手の UCI ポイント獲得および国際大会出場への良き道筋となるよう期待しております。

さて、昨年9月には悲願の2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定いたしました。日本自転車競技連盟といたしましても、地元開催でのオリンピックにおけるメダル獲得という新たな目標と共に、自転車競技の普及発展に最大限寄与していく所存でございます。どうか今後とも皆様方の倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆さまにとりまして良き年でありますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

日本新記録

Japan New Record

- 男子チーム・スプリント 250m × 3
男子エリート 43" 092 Cyclo Channel Tokyo (河端朋之、中川誠一郎、渡邊一成) 2013/12/05 メキシコ・アグアスカリエンテス
- 女子チーム・スプリント 250m × 2
女子エリート 34" 535 Cyclo Channel Tokyo (石井寛子、前田佳代乃) 2013/12/05 メキシコ・アグアスカリエンテス
- スタンディングスタート・500m
女子エリート 34" 882 前田佳代乃 (京都) 2013/12/06 メキシコ・アグアスカリエンテス
- スタンディングスタート・1km
男子エリート 1' 00" 017 中川誠一郎 (JPCA・JPCU熊本) 2013/12/07 メキシコ・アグアスカリエンテス

新しい翼で、世界の空へ。

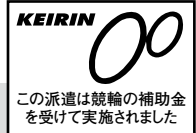
member of oneworld



JAPAN AIRLINES

2013年UCI室内自転車競技世界選手権大会

サイクルサッカーAリーグ昇格できず。



サイクルサッカー/対ハンガリー戦CK

11月22-24日、スイス/バーゼルのセントヤコブスハレにて室内自転車競技世界選手権大会が開催された。

サイクルサッカーは藤田洋介・時倉宗大組(歳前1)がグループBに参戦し結果は4位。サイクルフィギュアでは男子シングルの部において芝山耕輔(VfL東京)が21位、女子シングルの部において佐藤風沙(京都産業大学)が18位となった。いずれも目標には届かない厳しい戦果だった。

サイクルサッカーは夏以降にワールドカップ香港ラウンド派遣、ドイツJr.とのジャパンカップ、フランクフルト直前合宿という経緯を経ている。しかし今回は欧州勢に1勝も出来なかった。この事実は重い。今後の戦術や対策を一度リセットする必要があると考えている。

日本チームと欧州勢との格差の例として、ひとつには「シュートの距離感」が挙げられる。欧州勢は射程距離が長く、4m半円(点線のエリア)から約1m外側にシューティングレンジを設定しており、その地点へボールを運ぶことの逆算によって、中盤でのパスワークを構成する。日本チームの多くは欧州勢より1m奥(点線付近)までボールを運ばねばシュート出来ず、自ずと手数が増えることでミスやボールロストの可能性が増す。また敵陣奥へボールを運ぶことは、ボールロストが相手カウンターへと繋がる危険性をも高めることになり、従って日本チームの恒常的課題となっているシュート力は、この格差を縮めない限り欧州勢に近づくことは難しいと思われる。

もうひとつは「守備時のエリア分担意識」である。広いシューティングレンジに対応するための、GKとFWとのエリア管理分担において違いが認められる。欧州勢のGKは2m半円のペナルティエリア(PA)の外側1m以上、エンドラインから約3mあたりまでを担当し、至近距離のシュートはPA外まで前に出てブロックする意図をもって守っている。FWは先述したシューティングレンジへ運ばれるボールをチェックするためのポジショニングを徹底している。マークの受け渡しにズレがあるとリスクな守り方ではあるが、グループAの各国はそのような守備の連動が洗練されていると感じた。縦にわずか14mのコート、その攻防において1mの範囲差は致命的な格差になる。

サイクルフィギュアでは芝山が6年目、佐藤は5年目の参戦となった。技の確実性が増しているとは言え、世界選手権において求められる完成度には届いておらず、依然として「勝負にいく」レベルには到達出来ていない。それぞれトレーニング環境に悩みを抱える実情もあり、サポート側にも課題は多い。

今回は残念な結果であった。改めて世界との距離を縮めていきたい。

(日本選手団 宮川 廣平)

【競技結果】

2013年UCI室内自転車競技世界選手権大会(2013/11/22-24 スイス・バーゼル)

サイクルサッカー-グループA

- | | | |
|---|---------------------------------|-----|
| 1 | Schetzer Patrick/Markus Bröll | AUT |
| 2 | Krichbaum Jens/Rossmann Marco | GER |
| 3 | Schneider Roman/Planzer Dominik | SUI |

サイクルフィギュア/芝山耕輔



サイクルフィギュア/佐藤風沙



サイクルサッカー-グループB

- | | | |
|---|-------------------------------|-----|
| 1 | Accola Andry/Bianco Renato | ITA |
| 2 | Monge Florencio/Chaves Marcel | ESP |
| 3 | Szitas Tamas/Toma Vilmos | HUN |
| 4 | 藤田 洋介・時倉 宗大 | JPN |

サイクルフィギュア男子シングル

- | | | | |
|----|---------------------|-----|--------|
| 1 | Schnabel David | GER | 208.25 |
| 2 | Niedermeier Michael | GER | 193.67 |
| 3 | Wong Chin To | HKG | 163.03 |
| 21 | 芝山 耕輔 | JPN | 57.16 |

サイクルフィギュア女子シングル

- | | | | |
|----|----------------|-----|--------|
| 1 | Hein Corinna | GER | 180.11 |
| 2 | Hattemer Lisa | GER | 170.12 |
| 3 | Waibel Seraina | SUI | 153.98 |
| 18 | 佐藤 風沙 | JPN | 59.70 |



第44回全日本室内自転車競技選手権大会

サイクルサッカー 常勝 木下・松田組 敗れる



サイクルサッカー決勝（蔵前2 対 SFC ANGIE）

第44回全日本室内自転車競技選手権大会が大阪・難波のボディメーカーコロシアム（大阪府立体育会館）第2競技場で12月14・15日の2日間開催された。同会場の第1競技場は、大相撲、プロボクシング、プロレスなどが開催されるスポーツのメッカとして親しまれている会場である。

■サイクルサッカー

サイクルサッカーには24チームが出場。まず6グループに分れてファーストステージを行い、各グループ1位の6チームと、2位の中からプレーオフを行い2チームがセカンドステージへ進むことになる。

全日本6連勝中の木下直也・松田剛（VfH 東京1）をはじめ、VfH 東京2、蔵前1、蔵前2、舞馬などが勝点9（全勝）でセカンドステージへ進んだ。

2日目、4チーム×2グループで争われるセカンドステージはVfH 東京1がRSV 大阪を5-1で下しスタートした。その後の第4試合、なんと優勝候補のVfH 東京1が蔵前2に3-5で敗北する展開に。そして準決勝進

出は午後1番の、対SFC ANGIE戦に持ち越されることになった。

13時、注目のVfH 東京1対SFC ANGIE戦が第2コートで開始。接戦の末引き分けとなり、隣の第1コートで蔵前2がRSV 大阪に8-1で快勝したため、VfH 東京1の7連勝への望みは断たれてしまった。

結局、準決勝へ駒を進めたのは、蔵前1、蔵前2、SFC ANGIE、VfH 東京2の4チーム。第1試合では蔵前同士の対戦となり、ベテラン都築勝巳・森茂史ペアの蔵前2が決勝へと進んだ。

また準決勝第2試合のSFC ANGIE対VfH 東京2は白熱したゲーム展開となり、3-3の同点で後半戦を終了。PK戦の結果、今年の世界選手権補欠チームの田中勝也・岡嶋紘次ペア（SFC ANGIE）が決勝進出を決めた。

決勝では、蔵前2がSFC ANGIEを4-1で退け14年ぶりの優勝。また、VfH 東京2を破った蔵前1が3位となった。

■サイクルフィギュア男子シングル

サイクルフィギュア男子シングルは芦田史朗（C.F.C. 滋賀ブルーレイクエンジェル）と中川凱公（C.F.C. 滋賀ブルーレイクエンジェル）が出場。

初日に予選が行われ、芦田が102.27p（申請点125.20p）、中川が67.85p（申請点104.60p）でそれぞれ決勝へ進んだ。

2日目の決勝では、芦田が76.07p（申請点125.20p）で全日本8連覇を達成、中川が61.06p（申請点104.60p）で2位となった。

■サイクルフィギュア女子シングル

サイクルフィギュア女子シングルは6名の選手が出場。初日の予選では近藤菜月（C.F.C. 滋賀ブルーレイクエンジェル/中2）が88.93p（申請点106.30p）で日本新記録を樹立した。

2日目の決勝は予選上位4名で争われ、近藤菜月が再度日本新記録を更新する90.10pを決めて初優勝。2位 上嶋美音（C.F.C. 滋賀ブルーレイクエンジェル）、3位 佐藤凧沙（京都産業大学）となった。



女子シングル1位の近藤



男子シングル1位の芦田



女子シングル2位の上嶋



女子シングル3位の佐藤



男子シングル2位の中川



サイクルサッカー 2nd ST (VhH東京1 対 蔵前2)

【競技結果】

全日本室内自転車競技選手権大会
(2013/12/14-15 大阪・ホテイヤカドシアム)

サイクルサッカー

- 1 蔵前2 都築勝巳・森 茂史
- 2 SFC ANGIE 田中勝也・岡嶋鉦次
- 3 蔵前1 藤田洋介・時倉宗大

サイクルフィギュア男子シングル


- 1 芦田 史朗 滋賀ブルーレイクエンジェル 76.07
- 2 中川 凱公 滋賀ブルーレイクエンジェル 61.06

サイクルフィギュア女子シングル

- 1 近藤 菜月 滋賀ブルーレイクエンジェル 90.10
- 2 上嶋 美音 滋賀ブルーレイクエンジェル 88.26
- 3 佐藤 風沙 京都産業大学 70.96

関西シクロクロス 野洲ラウンド (UCI-2)

昨年に続き、男子は竹之内、女子は豊岡が優勝！



関西シクロクロス第3戦 野洲ラウンドが11月24日、滋賀県野洲市のピワコマイアミランド特設コース(2.7km/lap)で開催された。この大会は UCI カレンダー (UCI-C2) に登録されており、来年2月オランダで開催される世界選手権大会の代表選手選考の参考にされるセレクションレースでもある。

今回 UCI カレンダー登録されたカテゴリーは、女子エリート (40 分) と男子エリート+U23 (60 分) の2つで、チーフコミッサーも UCI 指名の Misroslav JANOUT 氏が野辺山高原ラウンドから引き続き執務した。

女子エリートは10時32分、7名でスタート。まず、豊岡、坂口聖香、宮内、與那嶺らが先頭を固め、その後はトップの豊岡を数秒差で宮内を追う展開となる。結局、同時出走の他のカテゴリー選手と混走のゴールスプリントとなり、豊岡が宮内を制した。

男子エリート+U23は12時45分、58名でスタート。序盤は小坂光、McDonarld、竹之内、横山、丸山らが先行。その後は竹之内が単独リード、それをMcDonarld、小坂が追う。その展開が最後まで変わらず、竹之内が勝利をものにした。

男子エリートのスタート



男子エリート1位の竹之内



シクリスムエコーのトップ中井

【競技結果】

関西シクロクロス 野洲ランド (UCI-2)
(2013/11/24 滋賀・野洲)

男子エリート

- 1 竹之内 悠 COLBA Superano 55:30
- 2 MCDONARLD,Zach Rapha Focus +0:51
- 3 小坂 光 宇都宮ブリッツェン CX +0:56



女子エリート

- 1 豊岡 英子 panasonic Ladies 40:03
- 2 宮内佐季子 CLUB viento +0:04
- 3 與那嶺恵理 TEAM FORZA +1:22



女子エリートの先頭グループ

2013 伊豆 BMX 国際

男子は吉村樹希敢が優勝!

男子1位の吉村(左)と2位三瓶



女子1位のアマンダ(左)と2位瀬古



11月17日(日)に静岡県伊豆市の日本サイクルスポーツセンター BMXトラックで2013伊豆 BMX 国際が開催され、吉村樹希敢が優勝した。

韓国、タイ、マレーシアの3カ国からもエントリーしたこの大会、男子エリートはジュニアとの混走で行われた。

スタートからトップに立ちレースをリードしたのは三瓶将廣。吉村樹希敢は最終コーナーで2位につけ、最後のストレートで仕掛けると、ゴール手前で三瓶の前に出て優勝を決めた。

男子と同様にジュニアの混走となった女子エリートは、タイよりエントリーのアマンダ・カーが瀬古遥加を抑えて優勝した。

【競技結果】

2013 伊豆 BMX 国際
(2013/11/17 静岡・日本 CSC)

男子エリート&ジュニア

- 1 吉村樹希敢 大阪 TOYO CREDIT
- 2 三瓶 将廣 神奈川 システマティック BMX
- 3 松下 翼 神奈川 GT

女子エリート&ジュニア

- 1 アマンダ・カー THA Supercross
- 2 瀬古 遥加 三重 Groovy factory
- 3 朝比奈綾香 大阪 関西 BMX 競技連盟

BMX 年間ランキング

男子1位は三瓶将廣、女子1位は瀬古遥加

男子TOP3



11月17日の伊豆 BMX 国際で2013年の国内シリーズランキングが確定し、チャンピ

オンシップレベルは男子が三瓶将廣(システマティック BMX)、女子は瀬古遥加(Groovy factory)が1位となった。

伊豆 BMX 国際終了後に男子エリート&ジュニアの表彰が行われ、1位の三瓶は「今期は国内を中心に活動して、念願のランキングトップでシーズンを終了することができてとてもうれしい。これをひとつの区切りとして来期からは、次世代を担うユースの育成にさらに力を入れていきたい」と語った。

男子

順位	氏名	合計	カテゴリー
1	三瓶 将廣	679	Elite Men
2	吉村樹希敢	550	Elite Men
3	草間 亮介	549	Elite Men
4	吉井 康平	520	Junior Men
5	松下 翼	518	Elite Men
6	阪本 章史	372	Elite Men
7	佐伯 辰哉	330	Junior Men
8	古幡 陵介	306	Elite Men
9	池上 悠斗	289	Junior Men
10	野村 敏且	283	Elite Men
11	高山 一成	270	Elite Men
12	瀬古 祐太	235	Elite Men
13	高山祐次郎	232	Elite Men
14	上田 龍星	192	Junior Men
15	高橋 堅太	171	Elite Men
16	吉村 啓斗	135	Elite Men
17	長迫 吉拓	130	Elite Men
18	菊池 雄	120	Elite Men
19	栗瀬 裕太	102	Elite Men

順位	氏名	合計	カテゴリー
20	佐伯 進	100	Elite Men
21	三瓶 貴公	92	Elite Men
22	穴戸 洋貴	60	Elite Men
23	菊池哲太郎	45	Elite Men
24	宮崎 大地	40	Elite Men
25	藤原 海渡	40	Elite Men
26	三宅 悠介	40	Junior Men
27	山口 勝也	20	Elite Men
28	荒金 知史	20	Elite Men
29	山田 敏郎	0	Elite Men

女子

順位	氏名	合計	カテゴリー
1	瀬古 遥加	360	Junior Women
2	朝比奈綾香	320	Junior Women
3	宇都宮真央	250	Junior Women
4	山野本悠里	230	Junior Women
5	飯端 美樹	130	Elite Women
6	三輪 郁佳	0	Elite Women

国立スポーツ科学センターでの測定合宿



12月2日から4日まで、ロードU23およびジュニア（既に測定済の選手を除く）

の強化指定選手を対象に、東京都北区西が丘にある国立スポーツ科学センター（JISS）において身体測定合宿が行われた。



連盟の動き (11月中旬～12月中旬)

- | | | |
|--------|-------------------------------|-------------------------|
| 11月12日 | インバカーギル・クラス1イベント日本代表選手団出発 | 於：ニュージーランド 帰国→19日 |
| 16日 | 2013年世界室内自転車競技選手権大会日本代表選手団出発 | 於：スイス 帰国→11/26 |
| 21日 | (公財)日本体育協会公認コーチ養成講習会専門科目講習会 | 於：日本CSC、サイテル（～25日） |
| 21日 | ジュニア強化合宿及び中距離トラック合宿 | 於：日本CSC・伊豆ベロドローム（～25日） |
| 29日 | 2013～14 UCIトラックW杯第2戦日本代表選手団出発 | 於：メキシコ 帰国→12/10 |
| 12月1日 | ロードU23・ジュニア強化指定選手測定、合宿 | 於：国立スポーツ科学センター JISS |
| 3日 | ロード競技部会 | 於：国立スポーツ科学センター JISS 会議室 |
| 10日 | 平成25年度第7回常務理事会兼強化本部会 | 於：東京・自転車総合ビル6階 |
| 14日 | トラック男子短距離合宿 | 於：日本CSC・伊豆ベロドローム（～17日） |
| 14日 | トラック女子短距離合宿 | 於：日本CSC・伊豆ベロドローム（～21日） |
| 17日 | トラック中短距離合宿 | 於：日本CSC・伊豆ベロドローム（～21日） |
| 19日 | 平成25年度第5回広報部会 | 於：東京・自転車総合ビル6階 |

無限の夢へ、走りだそう。



RING!RING!
プロジェクト

競輪の補助事業

JCF 登録のご案内

1. 登録とは

- * 日本自転車競技連盟（JCF）に登録することです。登録地、所属チーム、選手歴等が管理されます。
- * 登録分類は「競技者」「審判員」「チームアテンダント」の3つがあります。[2013年現在]
- * 登録証（ライセンス）が発行され、それにより登録者であることが証明されます。
- * 規則の順守が求められます。規則を守ることから、より安全な競技が行われます。

2. 登録すると…?

- * JCF 主催大会（全日本選手権など）、公認大会に出場できます。（ただし、大会ごとに別途基準を有する場合があります）
- * 記録の公認を受ける権利を得ます。
- * JCF および関係団体主催の講習・研修を受講できます。
- * その他の大会においてJCF登録者の部へ出場できます。
- * 自転車による事故を含む、賠償責任保険が付帯されます。

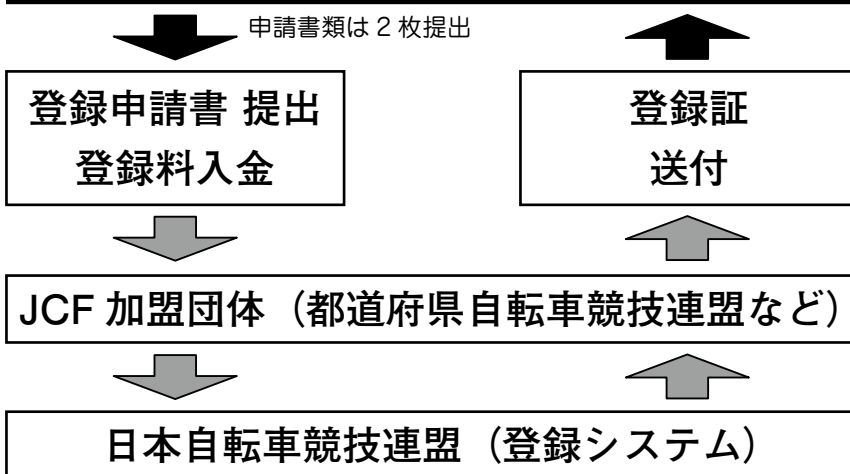


他人にケガをさせたり、他人の物を損壊させたりして法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。（限度額1億円、示談交渉サービス有り）
自転車競技中、自転車による通勤通学中はもちろん、家族全員の日常生活上に生じた事故も対象です。
※自動車使用中など対象外となるケースもあります。

3. 登録までの流れ

- ① JCF 加盟団体へ申請書を請求、もしくは JCF ホームページよりダウンロードします。
- ② 申請書に必要な事項を記入します。（内容をよく読み、同意の上署名をしてください）
- ③ JCF 加盟団体へ申請書を2枚送付し、登録料をご入金ください。
- ④ JCF 加盟団体より登録証（ライセンス）を受け取ります。
- ⑤ ライセンスへ直筆の署名をして完了です。

申請者（登録希望者）



■申請は加盟団体（都道府県自転車競技連盟など）経由で行います。

■窓口となる加盟団体によって、手続きの方法や登録料（ジュニア3,000円～、エリート5,000円～など）が異なります。

■詳しくは加盟団体のHP参照、または直接お問い合わせください。

JCF ホームページをご覧ください。

加盟団体連絡先、登録証の記入例なども載っております。 http://jcf.or.jp/?page_id=252



JCF 登録



ウェブ検索

平成25年度加盟団体別競技者登録状況

2013/12/17現在

	男子					女子					合計
	プロ	シニア	ジュニア	ビギナー	男子合計	プロ	シニア	ジュニア	ビギナー	女子合計	
北海道	0	109	33	0	142	0	5	6	0	11	153
青森	0	17	67	0	84	0	1	5	0	6	90
岩手	0	33	46	0	79	0	4	5	0	9	88
宮城	0	39	48	0	87	0	4	2	0	6	93
秋田	0	20	33	0	53	0	0	2	0	2	55
山形	0	16	21	0	37	0	1	1	0	2	39
福島	0	40	44	0	84	0	1	0	0	1	85
茨城	0	91	19	0	110	0	6	1	0	7	117
栃木	1	121	33	0	155	0	6	4	0	10	165
群馬	0	40	26	0	66	0	2	6	0	8	74
埼玉	1	208	129	0	338	0	15	7	0	22	360
千葉	1	137	35	0	173	0	7	2	0	9	182
東京	0	578	132	5	715	0	38	12	0	50	765
神奈川	4	331	77	1	413	0	17	4	0	21	434
山梨	0	21	37	0	58	0	2	9	0	11	69
新潟	1	64	20	0	85	0	1	0	0	1	86
長野	0	98	28	0	126	0	12	0	0	12	138
富山	0	36	11	0	47	0	0	2	0	2	49
石川	0	31	16	0	47	0	3	0	0	3	50
福井	0	26	22	0	48	0	6	0	0	6	54
静岡	2	161	61	2	226	0	9	8	0	17	243
愛知	2	262	44	0	308	0	10	10	0	20	328
三重	0	54	39	1	94	0	2	3	0	5	99
岐阜	0	56	27	0	83	0	2	0	0	2	85
滋賀	0	66	10	0	76	0	1	5	0	6	82
京都	0	180	47	1	228	0	8	2	0	10	238
大阪	0	366	75	0	441	0	19	9	0	28	469
兵庫	1	145	67	0	213	1	8	4	0	13	226
奈良	0	71	17	0	88	0	4	2	0	6	94
和歌山	0	32	20	0	52	0	4	0	0	4	56
鳥取	0	17	23	0	40	0	3	7	0	10	50
島根	0	24	11	0	35	0	1	3	0	4	39
岡山	0	74	55	0	129	0	2	3	0	5	134
広島	1	67	53	0	121	0	2	3	0	5	126
山口	0	57	20	0	77	0	1	0	0	1	78
香川	0	55	39	0	94	0	3	4	0	7	101
徳島	0	26	18	0	44	0	0	0	0	0	44
愛媛	0	57	39	0	96	0	5	2	0	7	103
高知	0	24	15	0	39	0	0	0	0	0	39
福岡	1	69	24	0	94	0	5	5	1	11	105
佐賀	0	1	5	0	6	0	0	1	0	1	7
長崎	0	12	24	0	36	0	1	2	0	3	39
熊本	0	30	43	1	74	0	0	0	0	0	74
大分	0	26	23	0	49	0	1	3	0	4	53
宮崎	0	18	13	0	31	0	1	2	0	3	34
鹿児島	0	21	16	0	37	0	2	3	0	5	42
沖縄	0	34	36	0	70	0	5	1	0	6	76
JPCA	271	5	0	0	276	5	0	0	0	5	281
合計	286	4066	1741	11	6104	6	230	150	1	387	6491

BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ

レースに本格的に挑むライダーたちへ。
身近になった高性能カーボンロード2014
NEW MODEL

RS8 ELITE

¥310,000(税込)
SHIMANO ULTEGRA仕様
※写真仕様は+¥22,000

ANCHOR

ブリヂストンサイクル株式会社

●専用カタログご希望の方は¥200切手を同封の上、郵送にてお申し込みください。
〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3-1-1 ブリヂストンサイクル(株) スポーツ事業部 販売課 TEL. 048-772-5334アンカーは(財)日本自転車競技連盟の
オフィシャルスポンサーです。

www.anchor-bikes.com

スポーツ界における暴力行為根絶宣言

【はじめに】

本宣言は、スポーツ界における暴力行為が大きな社会問題となっている今日、スポーツの意義や価値を再確認するとともに、我が国におけるスポーツ界から暴力行為を根絶するという強固な意志を表明するものである。

スポーツは私たち人類が生み出した貴重な文化である。それは自発的な運動の楽しみを基調とし、障がいの有無や年齢、男女の違いを超えて、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆（きずな）を深めることを可能にする。さらに、次代を担う青少年の生きる力を育むとともに、他者への思いやりや協同精神、公正さや規律を尊ぶ人格を形成する。

殴る、蹴る、突き飛ばすなどの身体的制裁、言葉や態度による人格の否定、脅迫、威圧、いじめや嫌がらせ、さらに、セクシュアルハラスメントなど、これらの暴力行為は、スポーツの価値を否定し、私たちのスポーツそのものを危機にさらす。フェアプレーの精神やヒューマンティーの尊重を根幹とするスポーツの価値とそれらを否定する暴力とは、互いに相いれないものである。暴力行為はたとえどのような理由であれ、それ自体許されないものであり、スポーツのあらゆる場から根絶されなければならない。

しかしながら、極めて残念なことではあるが、我が国のスポーツ界においては、暴力行為が根絶されているとは言い難い現実がある。女子柔道界における指導者による選手への暴力行為が顕在化し、また、学校における運動部活動の場でも、指導者によって暴力行為を受けた高校生が自ら命を絶つという痛ましい事件が起こった。勝利を追求し過ぎる余り、暴力行為を厳しい指導として正当化するような誤った考えは、自発的かつ主体的な営みであるスポーツとその価値に相反するものである。

今こそ、スポーツ界は、スポーツの本質的な意義や価値に立ち返り、スポーツの品位とスポーツ界への信頼を回復するため、ここに、あらゆる暴力行為の根絶に向けた決意を表明する。

【宣言】

現代社会において、スポーツは「する」、「みる」、「支える」などの観点から、多くの人々に親しまれている。さらに21世紀のスポーツは、一層重要な使命を担っている。それは、人と人との絆（きずな）を培うスポーツが、人種や思想、信条などの異なる人々が暮らす地域において、公正で豊かな生活の創造に貢献することである。また、身体活動の経験を通して共感の能力を育み、環境や他者への理解を深める機会を提供するスポーツは、環境と共生の時代を生きる現代社会において、私たちのライフスタイルの創造に大きく貢献することができる。さらに、フェアプレーの精神やヒューマンティーの尊重を根幹とするスポーツは、何よりも平和と友好に満ちた世界を築くことに強い力を発揮することができる。

しかしながら、我が国のスポーツ界においては、スポーツの価値を著しく冒瀆（ぼうとく）し、スポーツの使命を破壊する暴力行為が顕在化している現実がある。暴力行為がスポーツを行う者の人権を侵害し、スポーツ愛好者を減少させ、さらにはスポーツの透明性、公正さや公平をむしろむしむことは自明である。スポーツにおける暴力行為は、人間の尊厳を否定し、指導者とスポーツを行う者、スポーツを行う者相互の信頼関係を根こそぎ崩壊させ、スポーツそのものの存立を否定する、誠に恥ずべき行為である。

私たちの愛するスポーツを守り、これからのスポーツのあるべき姿を構築していくためには、スポーツ界における暴力行為を根絶しなければならない。指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織は、スポーツの価値を守り、21世紀のスポーツの使命を果たすために、暴力行為根絶に対する大きな責務を負っている。このことに鑑み、スポーツ界における暴力行為根絶を以下のように宣言する。

一、指導者

- 指導者は、スポーツが人間にとって貴重な文化であることを認識するとともに、暴力行為がスポーツの価値と相反し、人権の侵害であり、全ての人々の基本的権利であるスポーツを行う機会自体を奪うことを自覚する。
- 指導者は、暴力行為による強制と服従では、優れた競技者や強いチームの育成が図れないことを認識し、暴力行為が指導における必要悪という誤った考えを捨て去る。
- 指導者は、スポーツを行う者のニーズや資質を考慮し、スポーツを行う者自らが考え、判断することのできる能力の育成に努力し、信頼関係の下、常にスポーツを行う者とのコミュニケーションを図ることに努める。
- 指導者は、スポーツを行う者の競技力向上のみならず、全人的な発育・発達を支え、21世紀におけるスポーツの使命を担う、フェアプレーの精神を備えたスポーツパーソンの育成に努める。

二、スポーツを行う者

- スポーツを行う者、とりわけアスリートは、スポーツの価値を自覚し、それを尊重し、表現することによって、人々に喜びや夢、感動を届ける自立的な存在であり、自らがスポーツという世界共通の人類の文化を体現する者であることを自覚する。
- スポーツを行う者は、いかなる暴力行為も行わず、また黙認せず、自己の尊厳を相手の尊重に委ねるフェアプレーの精神でスポーツ活動の場から暴力行為の根絶に努める。

三. スポーツ団体及び組織

- スポーツ団体及び組織は、スポーツの文化的価値や使命を認識し、スポーツを行う者の権利・利益の保護、さらには、心身の健全育成及び安全の確保に配慮しつつ、スポーツの推進に主体的に取り組む責務がある。そのため、スポーツにおける暴力行為が、スポーツを行う者の権利・利益の侵害であることを自覚する。
- スポーツ団体及び組織は、運営の透明性を確保し、ガバナンス強化に取り組むことによって暴力行為の根絶に努める。そのため、スポーツ団体や組織における暴力行為の実態把握や原因分析を行い、組織運営の在り方や暴力行為を根絶するためのガイドライン及び教育プログラム等の策定、相談窓口の設置などの体制を整備する。

スポーツは、青少年の教育、人々の心身の健康の保持増進や生きがいの創出、さらには地域の交流の促進など、人々が健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。また、オリンピック・パラリンピックに代表される世界的な競技大会の隆盛は、スポーツを通じた国際平和や人々の交流の可能性を示している。さらに、オリンピック憲章では、スポーツを行うことは人権の一つであり、フェアプレーの精神に基づく相互理解を通して、いかなる暴力も認めないことが宣言されている。

しかしながら、我が国では、これまでスポーツ活動の場において、暴力行為が存在していた。時と場合によっては、暴力行為が暗黙裏に容認される傾向が存在していたことも否定できない。これまでのスポーツ指導で、とすれば厳しい指導の下暴力行為が行われていたという事実を真摯に受け止め、指導者はスポーツを行う者の主体的な活動を後押しする重要性を認識し、提示したトレーニング方法が、どのような目的を持ち、どのような効果をもたらすのかについて十分に説明し、スポーツを行う者が自主的にスポーツに取り組めるよう努めなければならない。

したがって、本宣言を通して、我が国の指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織が一体となって、改めて、暴力行為根絶に向けて取り組む必要がある。

スポーツの未来を担うのは、現代を生きる私たちである。こうした自覚の下にスポーツに携わる者は、スポーツの持つ価値を著しく侵害する暴力行為を根絶し、世界共通の人類の文化であるスポーツの伝道者となることが求められる。

【おわりに】

これまで、我が国のスポーツ界において、暴力行為を根絶しようとする取組が行われなかったわけではない。しかし、それらの取組が十分であったとは言い難い。本宣言は、これまでの強い反省に立ち、我が国のスポーツ界が抱えてきた暴力行為の事実を直視し、強固な意志を持って、いかなる暴力行為とも決別する決意を示すものである。

本宣言は、これまで、あらゆるスポーツ活動の場において、暴力行為からスポーツを行う者を守り、スポーツ界の充実・発展に尽力してきた全てのスポーツ関係者に心より敬意を表するとともに、それらのスポーツ関係者と共に、スポーツを愛し、豊かに育てていこうとするスポーツへの熱い思いを受け継ぐものである。そして、スポーツを愛する多くの人々とともに、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟は、暴力行為の根絶が、スポーツを愛し、その価値を享受する者が担うべき重要な責務であることを認識し、スポーツ界におけるあらゆる暴力行為の根絶に取り組むことをここに宣言した。

この決意を実現するためには、本宣言をスポーツに関係する諸団体及び組織はもとより、広くスポーツ愛好者に周知するとともに、スポーツ諸団体及び組織は、暴力行為根絶の達成に向けた具体的な計画を早期に策定し、継続的な実行に努めなければならない。

また、今後、国際オリンピック委員会をはじめ世界の関係諸団体及び組織とも連携協力し、グローバルな広がりを見込めつつ、スポーツ界における暴力行為根絶の達成に努めることが求められる。

さらに、こうした努力が継続され、結実されるためには、我が国の政府及び公的諸機関等が、これまでの取組の上に、本宣言の喫緊性、重要性を理解し、スポーツ界における暴力行為根絶に向けて、一層積極的に協力、支援することが望まれる。

最後に、スポーツ活動の場で起きた数々の痛ましい事件を今一度想起するとともに、スポーツ界における暴力行為を許さない強固な意志を示し、あらゆる暴力行為の根絶を通して、スポーツをあまねく人々に共有される文化として発展させていくことをここに誓う。

平成 25 年 4 月 25 日

公益財団法人 日本体育協会
 公益財団法人 日本オリンピック委員会
 公益財団法人 日本障害者スポーツ協会
 公益財団法人 全国高等学校体育連盟
 公益財団法人 日本中学校体育連盟

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

信州クロス第5戦

(2013/11/3 長野・飯山市運動公園)

カテゴリ-1

- 1 小坂 光 長野 宇都宮ブリッツェン CX
- 2 横山 航太 長野 篠ノ井高校
- 3 小坂 正則 長野 スクロレーシングチーム

カテゴリ-ジュニア

- 1 竹内 遼 長野 TEAM Pro Ride
- 2 山田 将輝 長野 Limited846
- 3 中井 唯晶 滋賀 瀬田工業高校

カテゴリ-L1

- 1 宮内佐季子 静岡 CLUBviento
- 2 今井 美穂 群馬 CycleClub.jp
- 3 相野田静香 長野 clubGROW

ツール・ド・おきなわ 2013 (UCI-1.2)

(2013/11/10 沖縄・北部地域)

男子チャンピオンレース (210km)

- 1 初山 翔 神奈川 BSアンカー 5:22:46
- 2 トビオアルコア純ガイトチーム右京 5:22:46
- 3 フェンキンウェイ HKG 5:22:46
- 4 ワルカー ウィリアム ドラハップ 5:22:46
- 5 ケース ケース NED 5:22:46
- 6 普久原 奨 沖縄 ブリッツェン 5:22:46

女子国際ロードレース (100km)

- 1 HUANG Dong Yan Chongming 3:19:06
- 2 金子 広美 三重 ナメ信濃 3:19:07
- 3 HUANG Ting Ying TPE 3:22:28
- 4 LEUNG Bo Yee HKG 3:22:29
- 5 中村 妃智 千葉 日本体育大 3:22:31
- 6 CHAN SIEW KHENG DINAH OCBC 3:22:32

ジュニア国際ロードレース (140km)

- 1 LAU Kwong HKG 4:07:49
- 2 樋口 峻明 神奈川 横浜高校 4:07:49
- 3 澤池 陵二 長崎 ホンジャンス 4:08:08
- 4 Davy Gunst NED 4:08:10
- 5 浅尾 銀二 岡山 ホンジャンス 4:08:22
- 6 孫崎 大樹 京都 北桑田高校 4:09:06

信州クロス 野辺山高原ラウンド 1 (UCI-2)

(2013/11/16 長野・南佐久)

男子ロード

- 1 竹之内 悠 COLBA Superano 1:03.12
- 2 山本 和弘 cannondale +1.22
- 3 小坂 正則 SUWAKO RACING +1.53

男子U23

- 1 横山 航太 篠ノ井高校 52:02
- 2 沢田 時 BS ANCHOR +0:03
- 3 前田 公平 TEAM SCOTT +1:33

女子ロード

- 1 豊岡 英子 panasonic ladies 36:58
- 2 宮内佐季子 CLUB viento +0:26
- 3 今井 美穂 CycleClubjp +0:59

2013年イバカギル・クラス1イベント (2013/11/16-17 ニュージーランド・イバカギル)

男子スクラッチ

- 1 MCCORMICK Hayden NZL
- 2 ARCHBOLD Shane NZL
- 3 CHEUNG King Lok HKG
- 4 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学
- 倉林 巧和 群馬 日本体育大学 DNF

男子タイム

- 1 GATE Aaron NZL
- 2 KENNETT Dylan NZL
- 3 BULLING Pieter NZL
- 9 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学
- 11 倉林 巧和 群馬 日本体育大学

女子スクラッチ

- 1 EDMONDSON Annette AUS
- 2 WILLIAMSON Sophie NZL
- 3 BUCHANAN Rushlee NZL
- 8 小島 蓉子 千葉 日本体育大学
- 12 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大学

女子タイム

- 1 ELLIS Lauren NZL
- 2 NIELSEN Jaime NZL
- 3 WUNDERSITZ Elissa AUS
- 7 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大学
- 12 小島 蓉子 千葉 日本体育大学

第44回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ (2013/11/17 静岡・伊豆パトロール)

男子スプリント

- 1 奥平 充男 京都 岩井商会レーシング
- 2 丸田 直 神奈川 湘南愛輪会
- 3 伊藤 信 京都 岩井商会レーシング

男子1km タイムトライアル

- 1 奥平 充男 京都 岩井商会 1:06.816
- 2 下沖 功児 JPCA 湘南愛輪会 1:06.880
- 3 伊藤 信 京都 岩井商会 1:08.228

男子ケリ

- 1 小林 清仁 山形 航空電子
- 2 市川 英昭 神奈川 湘南愛輪会
- 3 大村 慶二 東京 Team Logisty Jack

男子4km 個人ロード

- 1 ホール・ソル・アリアー 東京 ナメ信濃 4:49.750
- 2 林 航平 神奈川 Hammer!! 4:53.747
- 3 山崎 潤 神奈川 Logisty J. 4:59.292

男子4km チームロード

- 1 ナメ信濃山形 武田・ホール・血屋・中村 4:42.647
- 2 Logisty Jack 斎藤・山崎・大村・高月 4:55.062
- 3 湘南愛輪会 中川・市川・下沖・亀谷 5:27.589

男子チームスプリント

- 1 岩井商会レーシング 奥平・伊藤・小谷 48.962
- 2 湘南愛輪会 A 亀山・下沖・丸田 49.514
- 3 ナメ信濃山形 血屋・中村・山下 52.324

男子ポイントレース (30km)

- 1 山田 哲治 高知 マリノール 45p
- 2 岸 崇仁 東京 ハールズミ 42p
- 3 中村龍太郎 長野 ナメ信濃山形 31p

女子500m タイムトライアル

- 1 小林 莉子 JPCA 岩井商会 39.349
- 2 和地 恵美 神奈川 たかだフレンド 40.051

- 3 岡本 二葉 東京 スタ・ラフ 40.630

女子3km 個人ロード

- 1 和地 恵美 神奈川 たかだフレンド 4:18.664

女子ジュニア2km 個人ロード

- 1 岡本 二葉 東京 スタ・ラフ 2:52.744

信州クロス 野辺山高原ラウンド 2 (UCI-2) (2013/11/17 長野・南佐久)

男子ロード

- 1 竹之内 悠 Colba Superano 1:02:33
- 2 山本 和弘 cannondale +0:08
- 3 丸山 厚 JP Sports Test +1:18

男子U23

- 1 横山 航太 篠ノ井高校 51:29
- 2 沢田 時 BS ANCHOR +0:07
- 3 前田 公平 TEAM SCOTT +0:10

女子ロード

- 1 豊岡 英子 panasonic ladies 43:47
- 2 宮内佐季子 CLUB viento +0:20
- 3 坂口 聖香 panasonic ladies +0:52

2013-14 UCIトラックワールドカップ 第2戦 (2013/12/5-7 メキシコ・アグアスカリエンテス)

男子スプリント

- 1 GLAETZER Matthew AUS
- 2 KENNY Jason GBR
- 3 KELEMEN Pavel CZE
- 19 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本
- 35 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山

男子1km タイムトライアル

- 1 PERVIS Francois FRA 56.303
- 2 LEVY Maximilian ERD 57.949
- 3 EILERS Joachim GER 57.980
- 11 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本 1:00.017

男子ケリ

- 1 CRAMPTON Matthew GBR
- 2 WÄCHTER Tobias GER
- 3 PERKINS Shane AUS
- 12 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島

男子タイム

- 1 DAVISON Luke AUS 30p
 - 2 DE BUYST Jasper BEL 34p
 - 3 ZAKHAROV Artyom KAZ 36p
 - 11 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学 60p
- FL:13(13.235), PR:6(32p), EL:8,
IP:16(4:38.962), SH:1, TT:16(1:05.451)

男子チームスプリント

- 1 ドイツ 42.117
- 2 イギリス 43.325
- 3 オーストラリア 43.201
- 7 日本 河端・中川・渡邊 43.092

女子500m タイムトライアル

- 1 MEARES Anna AUS 32.836
- 2 WELTE Miriam GER 33.062
- 3 LEE Wai Sze HKG 33.296
- 14 前田佳代乃 京都 34.882

女子スプリント

- 1 VOGEL Kristina GER
- 2 MEARES Anna AUS
- 3 LEE Wai Sze HKG
- 20 前田佳代乃 京都
- 25 石井 寛子 JPCA JPCU 東京

女子ケリソ

- 1 VOGEL Kristina GER
- 2 LEE Wai Sze HKG
- 3 JAMES Rebecca Angharad GBR
- 17 前田佳代乃 京都 1 回戦敗退

女子チーム

- 1 HAMMER Sarah USA 19p
- 2 TROTT Laura GBR 26p
- 3 D'HOORE Jolien BEL 27p
- 16 塚越さくら 青森 鹿屋体育大学 88p
FL:13(14.564), PR:19(-20p), EL:18,
IP:14(3:44.367), SH:16, TT:8(35.886)

—地区プロ大会—

第40回北日本地区7⁰選手権自転車競技大会
(2013/10/23 青森・青森競輪場) 400m

スプリント

- 1 成田 和也 福島
- 2 森田 康嗣 北海道
- 3 保科 千春 宮城

1kmタイムトライアル

- 1 坂本 貴史 青森 1:05.710
- 2 小松崎大地 福島 1:06.848
- 3 早坂 秀悟 宮城 1:07.258

ケリソ

- 1 山崎 芳仁 福島
- 2 佐藤慎太郎 福島
- 3 伏見 俊昭 福島

4km個人ハ⁰-シュート

- 1 佐藤 朋也 秋田 5:05.13
- 2 菅田 壱道 宮城 5:06.28
- 3 鈴木 誠 福島 5:12.62

チームスプリント

- 1 福島 伏見・佐藤慎・渡邊 1:14.49
- 2 青森 高橋・坂本・佐藤博 1:16.28
- 3 宮城 阿部・菅田壱・早坂 1:16.67

4kmチームハ⁰-シュート

- 1 宮城 竹山・安部・三浦・櫻井 4:42.28
- 2 青森 守澤・新山・坂本・木村 4:44.79
- 3 福島 鈴木・金澤・小松崎・飯野 4:59.24

リミネイションス

- 1 竹山 陵太 宮城
- 2 守澤 太志 秋田
- 3 佐藤 朋也 秋田

第40回関東地区7⁰選手権自転車競技大会
(2013/10/22 群馬・前橋競輪場) 335m

スプリント

- 1 雨谷 一樹 栃木
- 2 山口 貴弘 栃木
- 3 岸澤 賢太 埼玉

1kmタイムトライアル

- 1 矢口啓一郎 群馬 1:05.271
- 2 松田 優一 茨城 1:06.192
- 3 小原 唯志 茨城 1:06.431

ケリソ

- 1 武田 豊樹 茨城
- 2 飯嶋 則之 栃木
- 3 芦澤 大輔 茨城

4km個人ハ⁰-シュート

- 1 金子 幸央 栃木 4:53.855
- 2 峠 祐介 埼玉 4:55.794
- 3 伊藤 太一 山梨 5:07.236

リミネイションス

- 1 小林 潤二 群馬
- 2 大園 宏 茨城
- 3 武藤 龍生 埼玉

チームスプリント

- 1 群馬 稲村・矢口・小暮 1:02.370
- 2 茨城 松田・小原・吉澤 1:03.136
- 3 山梨 志村・古屋・城 1:05.030

4kmチームハ⁰-シュート

- 1 群馬 田村・手島志・手島達・石川 4:33.548
- 2 新潟・長野 大矢・本間・小峰・荒井 4:37.789
- 3 埼玉 白岩・吉田・天沼・土屋 4:41.538

GIRLS KEIRIN 女性ケリソ

- 1 小林 莉子 千葉
- 2 増茂るるこ 千葉
- 3 野口諭実可 群馬

第40回南関東地区7⁰選手権自転車競技大会
(2013/10/23 神奈川・川崎競輪場) 400m

スプリント

- 1 根田 空史 千葉
- 2 吉川 誠 神奈川
- 3 武田 憲祐 神奈川

1kmタイムトライアル

- 1 萩原 孝之 静岡 1:07.358
- 2 柴田 竜史 静岡 1:08.668
- 3 藤田 大輔 千葉 1:09.206

ケリソ

- 1 桐山敬太郎 神奈川
- 2 松坂 洋平 神奈川
- 3 松坂 英司 神奈川

4km個人ハ⁰-シュート

- 1 川崎 健次 神奈川 5:14.14
- 2 中井 勇介 千葉 5:22.85
- 3 荒川 大輔 静岡 5:27.95

リミネイションス

- 1 武井 大介 千葉
- 2 栗原 厚司 静岡
- 3 中曾 直彦 千葉

チームスプリント

- 1 神奈川A 郡司・和田・巴 1:17.26
- 2 千葉 中村・伊勢崎・田中晴 1:17.96
- 3 静岡 片寄・菅原・田中諒 1:19.69

4kmチームハ⁰-シュート

- 1 神奈川A 遠澤・小原・加藤・柁原 4:39.78
- 2 静岡 深澤・岡村・栗田・村本 4:41.19
- 3 神奈川B 伊藤・亀谷・関根・奥原 4:51.79

女子ケリソ

- 1 杉沢毛伊子 静岡
- 2 浦部 郁里 千葉
- 3 篠崎 新純 千葉

第41回中部地区7⁰選手権自転車競技大会
(2013/11/20 愛知・豊橋競輪場) 400m

スプリント

- 1 金子 貴志 愛知
- 2 柴崎 淳 三重

- 3 板橋 慎治 岐阜

1kmタイムトライアル

- 1 竹内 雄作 岐阜 1:04.503
- 2 永井 清史 岐阜 1:06.134
- 3 笹倉 慎也 富山 1:06.913

ケリソ

- 1 山口 富生 岐阜
- 2 志智 俊夫 岐阜
- 3 長尾 拳太 岐阜

4km個人ハ⁰-シュート

- 1 倉野隆太郎 愛知 4:58.57
- 2 山口 智弘 愛知 4:59.00
- 3 坂上 忠克 石川 4:59.22

チームスプリント

- 1 岐阜 松岡・森川・竹内 1:16.562
- 2 愛知 朝日・高橋・深谷 1:17.981
- 3 富山 大庭・吉川・宮越 1:18.533

4kmチームハ⁰-シュート

- 1 岐阜 山口・吉田・川西・児玉 4:32.97
- 2 富山 山田・小堺・道上・小嶋 4:54.49
- 3 愛知 白井・富安・川口・島野 4:57.09

リミネイションス

- 1 舛井 幹雄 三重
- 2 館 泰守 愛知
- 3 坂口 晃輔 三重

第36回近畿地区7⁰選手権自転車競技大会
(2013/9/29 和歌山・和歌山競輪場) 400m

スプリント

- 1 稲垣 裕之 京都
- 2 筒井 裕哉 兵庫
- 3 西谷 岳文 京都

1kmタイムトライアル

- 1 稲毛 健太 和歌山 1:04.768
- 2 伊藤 保文 京都 1:06.265
- 3 角 令央奈 兵庫 1:07.056

ケリソ

- 1 村上 博幸 京都
- 2 藤木 裕 京都
- 3 東口 善朋 和歌山

4km個人ハ⁰-シュート

- 1 岡嶋 登 大阪 4:48.525
- 2 高田 大輔 和歌山 4:53.957
- 3 市村 昌樹 兵庫 5:06.082

チームスプリント

- 1 和歌山 中野・高田・稲毛 1:16.490
- 2 福井 市田・伊原・脇本 1:16.910
- 3 滋賀 高久保・窪田・藤井 1:17.710

4kmチームハ⁰-シュート

- 1 福井 脇本・渡辺+・伊原・渡辺航 4:25.713
- 2 大阪 岡嶋・神田・菊谷・藤野 4:31.275
- 3 兵庫 井上・角・村田・篠塚 4:31.757

リミネイションス

- 1 窓場加乃敏 京都
- 2 鷺田 幸司 福井
- 3 村田 雅一 兵庫

第40回中国地区7⁰選手権自転車競技大会
(2013/11/23 広島・広島競輪場) 400m

スプリント

- 1 河端 朋之 岡山

- 2 石丸 寛之 岡山
- 3 西田 雅志 広島

1km タイムトライアル

- 1 才迫 勇馬 広島 1:08.20
- 2 大川 龍二 広島 1:08.76
- 3 片岡 迪之 岡山 1:08.78

ケリソ

- 1 友定 祐己 岡山
- 2 三宅 伸 岡山
- 3 岩津 裕介 岡山

4km 個人バレーシュート

- 1 大屋 健司 広島 4:59.57
- 2 山下 一輝 山口 5:04.08
- 3 川本 琢也 岡山 5:15.89

チームスプリント

- 1 岡山 戸田・工藤・黒田 1:17.69
- 2 広島 前反・大川・大瀬戸 1:18.03
- 3 山口 内村泰・隅・内村竜 1:18.52

4km チームバレーシュート

- 1 岡山 三宅・新村・藤原・片山 4:40.96
- 2 広島 工・大屋・桶谷・三登 4:44.40
- 3 山口 井山・山下・阿部・沢田 5:01.47

リレー

- 1 松浦 悠士 広島
- 2 星島 太 岡山
- 3 柏野 智典 岡山

第40回四国地区選手権自転車競技大会 (2013/10/18 高知・高知競輪場) 500m

スプリント

- 1 濱田 浩司 愛媛
- 2 堤 洋 徳島
- 3 高原 仁志 徳島

1km タイムトライアル

- 1 阿竹 智史 徳島 1:07.03

- 2 大西 祐 香川 1:07.22
- 3 山本 伸一 高知 1:07.57

ケリソ

- 1 佐々木則幸 高知
- 2 渡部 哲男 愛媛
- 3 小川 圭二 徳島

4km 個人バレーシュート

- 1 網谷 竜次 香川 5:05.58
- 2 蓮井 祐輝 香川 5:14.29
- 3 曾我部匡史 愛媛 5:15.63

チームスプリント

- 1 香川 池田・福島・戸田 47.74
- 2 高知 篠原・山中・吉松 47.90
- 3 愛媛 湊・橋本・日野 49.03

4km チームバレーシュート

- 1 徳島 山形・住村・松本・藤田 4:40.57
- 2 愛媛 宇根・鳥生・芳野・横内 4:40.93
- 3 香川 近藤・福島・宮崎・中西 4:50.30

第40回九州地区選手権自転車競技大会 (2013/10/23 大分・別府競輪場) 400m

スプリント

- 1 中川誠一郎 熊本
- 2 井上 昌己 長崎
- 3 荒井 崇博 佐賀

1km タイムトライアル

- 1 下沖 功児 宮崎 1:06.514
- 2 森山 智徳 熊本 1:07.330
- 3 大西 貴晃 大分 1:07.856

ケリソ

- 1 坂本 亮馬 福岡B
- 2 園田 匠 福岡A
- 3 小野 俊之 大分

4km 個人バレーシュート

- 1 北津留 翼 福岡A 4:51.683

- 2 大竹 慎吾 大分 4:55.889
- 3 成松 春樹 佐賀 5:05.125

チームスプリント

- 1 福岡A 宮本・永田・北津留 1:17.918
- 2 熊本 松本・本郷・森山 1:18.058
- 3 大分 利根・大西・萱島 1:18.974

4km チームバレーシュート

- 1 大分 鈴木・小岩・加藤・安東 4:27.752
- 2 佐賀 坂本・好永・一瀬・山田 4:35.675
- 3 福岡B 加倉・西田・小川・津村 4:37.610

リレー

- 1 大塚健一郎 大分
- 2 好永 晃 佐賀
- 3 野田 源一 福岡B

※前号の記録訂正と追加
シクリスムエコー No.203 p19 掲載の一部に誤りがありました。お詫びして、訂正・追加いたします。

2013ACCトラックアジアカップタイワン (2013/10/4-6 タイワン)

男子ケリソ ※雨天のため決勝中止

- 6 AWANG Azizulharni MAS
- 6 稲毛 健太 JPN
- 6 PARASH Mohammad IRI
- 6 脇本 雄太 JPN
- 6 SIANGLUM Satjakul THA
- 6 PARASH Mahmohd IRI

女子ケリソ ※雨天のため決勝中止

- 6 中川 諒子 JPN
- 6 LUEKAJORN Watinee THA
- 6 KIM Ji Won KOR
- 6 前田佳代乃 JPN
- 6 MOHAMAD Ummi Hamimah MAS
- 6 LEUNG Bo Yee HKG

今後の大会予定 (2013.12.19 現在)

※ TR:トラックレース、RR:ロードレース、CX:シクロクロス、MTB:マウンテンバイク、BMX:BMX、Trial:トライアル、Indoor:室内自転車競技、PARA:パラサイクリング

期日	大会名	種目	場所
1月17日～19日	2013-2014UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#3	TR	メキシコ/グアダハラ
1月24日	JAPAN TRACK CUP I (Class 1)	TR	静岡/伊豆ベロドローム
1月25日～26日	JAPAN TRACK CUP II (Class 1)	TR	静岡/伊豆ベロドローム
2月1日～2日	2014年UCIシクロクロス世界選手権大会	CX	オランダ/フーゲンハイド
2月16日	第八回明治神宮外苑大学クリテリウム	RR	東京/神宮外苑
2月26日～3/2日	2014年UCIトラック世界選手権大会	TR	コロンビア/カリ
3月16日	九州チャレンジサイクルロードレース	RR	熊本県・五木村
3月20日～23日	平成25年度第37回全国高等学校選抜自転車競技大会	TR	福岡/北九州、熊本/山鹿
4月6日	第39回チャレンジサイクルロードレース大会	RR	静岡/日本CSC
4月19日～20日	全日本選手権自転車競技大会-トラック	TR	福島/泉崎
4月19日～20日	全日本選手権自転車競技大会-パラサイクリング・トラック	PARA	福島/泉崎
5月3日～4日	全日本選手権自転車競技大会-トライアル	Trial	長野/佐久ミレニアムパーク
5月8日～11日	パラサイクリング・ロード・ワールドカップ第1戦	PARA	イタリア/ Castiglione Della Pescaia
5月18日～25日	ツアー・オブ・ジャパン	RR	大阪～東京
5月19日	第61回全日本プロ選手権自転車競技大会トラック・レース	TR	茨城/取手競輪場
5月22日～26日	アジア選手権大会トラックレース	TR	カザフスタン
5月25日	八幡浜国際クロスカントリー	MTB	愛媛/八幡浜
5月29日～6/1日	ツール・ド・熊野	RR	和歌山
5月29日～6/1日	アジア選手権大会ロードレース	RR	カザフスタン

CYCLING IS ONE

Japan Track Cup

<http://www.japantrackcup.net/>

2014年 ジャパン・トラック・カップ I / II (UCI Class 1)

期 日 ジャパン・トラック・カップ I 2014年1月24日(金)
ジャパン・トラック・カップ II 2014年1月25日(土) ~ 26日(日)
会 場 伊豆ベロドローム(周長 250m・屋内・木製走路) 静岡県伊豆市大野 1826



国際トラック競技大会
「JAPAN TRACK CUP」
伊豆ベロドロームで初開催!!

主 催 公益財団法人 JKA
競技主管 公益財団法人 日本自転車競技連盟
協 力 一般社団法人 静岡県自転車競技連盟

ジャパン・トラック・カップ I

男女エリート：スプリント／ケイリン／ポイントレース
男子ジュニア：スクラッチ／ケイリン
女子ジュニア：ポイントレース／ケイリン

ジャパン・トラック・カップ II

男女エリート：スプリント／ケイリン／オムニアム
男子ジュニア：ポイントレース／ケイリン
女子ジュニア：スクラッチ／ケイリン

自転車競技トラックレースは、1896年の第1回オリンピック競技大会から行なわれている伝統的スポーツです。現在ではオリンピックを頂点に、UCIの主催する世界選手権大会、ワールドカップ、大陸自転車競技連合の主催する大陸選手権大会、そして各国ごとに主催するクラス1から3の国際トラック競技大会があります。

国際トラック競技大会に参加した競技者には、順位に応じてUCI個人トラック・ランキングのためのポイントが与えられます。そしてこのランキングにより各国にワールドカップの参加資格枠が与えられます。さらにこのワールドカップでの成績に基づくワールドカップ・ランキングにより、世界選

手権大会の参加資格が与えられます。次回リオのオリンピック参加資格制度はまだ発表されていませんが、前回大会の例から、オリンピック参加のためにはワールドカップ、世界選手権大会での成績が重要になることは間違いないでしょう。

大陸選手権大会や国内選手権大会でもポイントを得ることができ、それぞれ年に1回しかありませんので、より多くのポイントを稼いで世界選手権大会の参加資格を得るためには、世界各国で行なわれる国際トラック競技大会に参加し、ランキング・ポイントを積み重ねる必要があるのです。自国開催の大会はポイント獲得において有利であり、当然ながら上位クラスの国

際大会の方がより多くのポイントを得ることができ、ぜひとも5ヶ国以上の参加を得て、クラス1としての大会を実現したいところです。

一方、世界選手権大会に参加した国は、次のシーズンに国際トラック競技大会を開催する義務があり、開催しなければ翌年の世界選手権参加の権利を失います。

すなわち、このJapan Track Cupは世界選手権大会参加資格の獲得とその確保のために重要な大会です。

リオ、そして東京オリンピックへとつながる第一歩として、東京大会招致決定後最初の国際トラック競技大会での日本の競技者の活躍にご期待ください。



Japan National Championships Indoor Cycling



サイクルフィギュア女子シングル1位の近藤



サイクルフィギュア男子シングル1位の芦田

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.204 2013年12月・2014年1月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/安田 光義

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>

